

衆議院外務委員会ニュース

【第 201 回国会】令和 2 年 4 月 3 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・茂木外務大臣、寺田総務副大臣、義家法務副大臣、山本防衛副大臣、青山内閣府大臣政務官、宮崎法務大臣政務官、中山外務大臣政務官、佐々木文部科学大臣政務官、渡辺防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- （質疑者）大西健介君（立国社）、小熊慎司君（立国社）、阿久津幸彦君（立国社）、中曽根康隆君（自民）、岡本三成君（公明）、穀田恵二君（共産）、青山雅幸君（維新）、井上一徳君（希望）

（質疑者及び主な質疑事項）

大西健介君（立国社）

- （1） 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 3月31日に感染症危険情報レベルを引き上げた理由
 - イ 感染症危険情報レベル3の国からの帰国者に対する検疫の状況
 - ウ ペルーにおいて帰国困難となった邦人への対応
 - エ 短期滞在の旅行者等の邦人が帰国困難となっている国
 - オ 今年度予算に計上された東京オリンピック・パラリンピックの要人接遇に係る費用及び組織の扱い
 - カ 緊急経済対策として与党の中で検討されていた国産品を対象とした商品券の配付がWTO協定違反となる可能性
- （2） 北朝鮮情勢
 - ア 北朝鮮国内における新型コロナウイルス感染状況についての茂木外務大臣の見解
 - イ 金平一駐チェコ大使及び金光燮駐オーストリア大使が平壤に帰任した背景についての外務省の分析
- （3） 万国郵便連合国際事務局長選挙
 - ア 選挙情勢及び目時氏当選に向けた寺田総務副大臣の決意
 - イ 目時氏当選に向けた茂木外務大臣の決意

小熊慎司君（立国社）

- （1） 東京オリンピック・パラリンピック
 - ア J ヴィレッジについて東京電力が国の定めたルールどおりの除染を行わずに返却していたことに対する見解
 - イ 復興五輪としての位置付けを世界に発信していくための取組
- （2） 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 医療後進国等への人道支援の必要性
 - イ 特定技能制度の利用が目標の10分の1の利用に留まっていることへの対応
 - ウ 在外教育施設の対応の現状
- （3） 海上自衛隊護衛艦と中国漁船の衝突事故を巡る確認中の情報をSNS発信したことについての山本防衛副大臣の認識

阿久津幸彦君（立国社）

- （1） 東京オリンピック・パラリンピックの延期についての茂木外務大臣の受けとめ

- (2) 羽田空港の新飛行ルートの運用開始
 - ア 新飛行ルートの横田空域の通過の有無
 - イ 新飛行ルートの横田空域内の飛行地域、飛行距離及び飛行時間
 - ウ 横田空域内での航空管制の実施主体
 - エ 横田空域内で米軍機と日本の民間機が共有する空域帯において適用される法律
 - オ 横田空域の縮小、撤廃に向けた茂木外務大臣の決意
- (3) 中東情勢
 - ア 米国を始めとする有志連合構想への参加は想定しないという我が国政府の方針の確認
 - イ 中東地域へ派遣された自衛隊の活動内容
 - ウ 中東地域へ派遣された自衛隊が日本船舶の防護を行うために必要な措置
 - エ 調査研究活動に従事する自衛隊員の武器使用の可否
 - オ 米国に対してイランへの経済制裁を当面の間一部解除するように働きかける考えの有無
- (4) 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う各国の輸入制限
 - ア 東日本大震災以降現在まで我が国の食料品等の輸入を制限している国
 - イ 我が国の食料品の輸入制限を続けている各国に対する外務省からの働きかけとそれに対する各国の反応
 - ウ 東京電力福島第一原子力発電所事故以降9年を経てなお我が国の食料品の輸入停止等を実施する国々が存在する現状についての茂木外務大臣の見解と風評被害の払拭に向けて今後必要となる努力

中曽根康隆君（自民）

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 韓国で製造された新型コロナウイルス感染症の診断キットの名称を独島にしようとする請願が韓国大統領府のホームページに寄せられたことについての茂木外務大臣の見解と今後の対応予定
 - イ 新型コロナウイルス感染症によって打撃を受けている新興国、発展途上国に対する我が国政府による支援の具体策
 - ウ 中国に依存する日本企業のサプライチェーンを見直すための支援
- (2) 一部の歴史教科書における日本の近代史についての自虐的な記述についての外務省の見解

岡本三成君（公明）

新型コロナウイルス感染症への対応

- ア 今日から公共交通機関を使って帰宅することができなくなる帰国者への対応
- イ 感染が爆発的に広がっている地域の在外邦人に対して在外公館を通して行っている支援
- ウ 外務省の在外職員に対する支援
- エ 中国からのマスクの確保に向けて両国のトップ同士で合意することについての茂木外務大臣の見解

穀田恵二君（共産）

新型コロナウイルス感染症への対応

- ア 多くの感染者が出ている中東で自衛隊部隊が活動していることについての茂木外務大臣の見解
- イ 中東に派遣されている護衛艦「たかなみ」における感染者の有無
- ウ 護衛艦「たかなみ」の艦内でPCR検査を受けるための体制の整備の有無
- エ PCR検査を受けるための体制が整っていないにも関わらず護衛艦「たかなみ」の艦内に感染者

がないと言える根拠

- オ 護衛艦「たかなみ」で感染者が出た場合に同護衛艦内で感染者を隔離するための場所
- カ 河野防衛大臣が3月10日の記者会見で述べていた中東に派遣されている自衛隊部隊の健康管理に関してジブチのフランス軍の病院等と行っている調整の現状
- キ 護衛艦「たかなみ」から自衛隊の感染者がジブチのフランス軍の病院に搬送されるのは自衛隊拠点内の医務室で十分な治療が行えない場合であることの確認
- ク 護衛艦「たかなみ」におけるコンティンジェンスプラン（想定外の事態が起きたときのために事前に定めておく対応策や行動手順）の内容
- ケ 防衛省が私に提供した護衛艦「たかなみ」におけるコンティンジェンスプランの全文が掲載されているとする資料の位置付け
- コ 防衛省はコンティンジェンスプランを本当に作成しているか否か
- サ 1981年の冬に護衛艦「ゆうだち」に乗船していた隊員約250人の8割がインフルエンザに感染したという過去の事例から学んだ教訓及び対応

青山雅幸君（維新）

新型コロナウイルス感染症への対応

- ア 外務省から関係官庁に対する諸外国の感染拡大状況の伝達の有無
- イ ニューヨーク州、米国全体それぞれの3月11日と現時点における感染者数
- ウ 感染者数の急激な増加によって生じているニューヨーク州の医療の状況
- エ イタリア、スペイン、ドイツ、フランス、イギリス及び米国において感染者数が100人に達した日付及び1,000人に達した日付
- オ 中国、韓国及び我が国で発生したウイルスとは別の変異型ウイルスが欧米各国で蔓延しているという情報についての外務省の把握状況及び関係省庁への情報共有の有無
- カ 我が国の入国制限措置の内容及び法的根拠
- キ イタリア、スペイン、ドイツ、フランス、イギリス及び米国を対象とした入国禁止措置の実施の有無並びに実施した日付
- ク 米国を対象とした上陸拒否が遅れた理由
- ケ ドイツが行っている対策などについての情報収集及び感染症への対応についての茂木外務大臣の決意

井上一徳君（希望）

新型コロナウイルス感染症への対応

- ア 外国で出国不可能又は困難となっている邦人の数及びその国・地域の数
- イ 帰国困難者に対してチャーター機を派遣することについての外務省の見解
- ウ 帰国困難者への対応として政府専用機を活用することについての防衛省の見解
- エ 外務省で検討している緊急時の在留邦人保護に対応するチームの創設についての検討状況

- 2 投資の促進及び保護に関する日本国とアラブ首長国連邦との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第1号）
投資の促進及び保護に関する日本国とヨルダン・ハシェミット王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第2号）
包括的な経済上の連携に関する日本国及び東南アジア諸国連合構成国との間の協定を改正する第一議定書の締結について承認を求めるの件（条約第3号）
投資の促進及び保護に関する日本国とモロッコ王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第4号）
投資の相互促進及び相互保護に関する日本国政府とコートジボワール共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第5号）
- ・ 茂木外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。